

通信小海

変わらないお方に

牧師 水草修治

正月のニュースは「あけましておめでとう
ございます」とか「希望に満ちた新年をお迎
えのことと存じます」とか型どおりに挨拶し
ながら、少し話し始めると、日本経済の二年
連続マイナス成長とか、デフレスパイラルと
か、失業率の急増とか、少子化とか、大地震
の予兆とか景気の悪い話、恐ろしいような話
ばかり。本首ではあまりおめでたくもなさそ
うである。

天地の創造主を知る者としては、どんなふ
うに新年をむかえて人生設計というものを
するのか。その根本にあるのは、神のご摂理

【今月のひとこと】

「人の心には多くの計画がある。し
かし、主のはかりことだけが成る。」

箴言十九：二十一

に對する信頼である。摂理とは私たちにたい
する神の深い配慮・配剤のことである。古い
信仰問答につきのよつにある。

問 神の摂理とは何ですか？

答 それは、神の全能なる今はたらく力で
す。神は、摂理によって、天と地とそのすべ
ての被造物をも、御手をもつてすることく
に、保ちまた支配してくださり、木の葉も草
も、雨も日照りも、実り豊かな年も実らぬ年
も、食べることも飲むことも、健康も病氣も、
富も貧しさも、すべてのものが、偶然からで
はなく、父としての御手によって、われわれ
に来るのです。

人生の土台を変わるもの、揺るぐものに置
いているかぎり、あなたの人生は不安定だろ
う。カネに土台を置かならばカネを失えば不
安になり、健康に土台を置かならば病氣にな

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

集会あんない

日曜日

朝礼拝 午前十時から十一時

夕礼拝 午後七時半から八時半

水曜日

聖書研究・祈り会 午後七時半

*初めての方も歓迎します。

*聖書を読む会を、八千穂・海尻・小海で
しています。お問い合わせください。

*個人的なご相談にも乗ります。

れば絶望し、仕事に土台を置く人は失職すればグラグラと揺るいでしまうし、人に頼っているならばいつか人の裏切りや限界にぶつかって失望してしまふ。

雨降りもあれば日照りもある。富む日もあれば貧しい日もある。健康な日もあれば病気の日もある。出会いもあれば別れもある。生れる日もあれば、死ぬる日もある。

そんな無常な人生において変わることにない真実なお方をわが父と仰いでともに生きることができるとはなんと幸いだらうか。しかも、神は、神を愛する者のために、最悪としか思えない災いさえも、不思議な知恵によつて善と転じてくださる。

あなたも今年こそ、まことの神を愛する人生を始めませんか。そして、この神様に人生をゆだねつつ、天国に続く道を感じつつ歩もうではありませんか。

「むしろあなたがたはこう言うべきです。『主のみこころなら、私たちは生きていて、このことを、または、あのことをしよう。』」ヤコブ書四章十五節

わたしのカゼ対策

カゼは万病のもととか。わたしの簡単で効き目バツチリのカゼ対策を紹介します。

水をガブガブ飲みます。喉や鼻の粘膜が乾燥していると、ウィルスが、からだに入ってしまうからです。

鼻がぜ・頭痛・寒気を感じたら、すぐにホツカイロを首の後ろの少し下に貼り付けて、マフラーをする。ここには「風門」というツボがあるそうです。

* 読者のカゼ対策も教えてください。

山谷の炊き出し報告

ある日、教会の前に真っ白い軽トラが止まりました。山谷労働者福祉会館の藤田さんでした。信州から山谷に米を運ぶためと聞いて、小海町の自動車整備屋さんがあった二千五百キロしか走っていない車をもつけ抜き

特別価格で譲ってくださいました。これで三十キロ入りの米袋を十はたやすく運べるようになりました。感謝。

またクリスマスには、茅野市の九百九十二名の方から八六 キロモの米が寄せられたとのことです。年末年始越年対策を実施中ですが、期間中に消費する二トンのうち約半分をこれでまかなえるということです。

山谷労働者福祉会館では毎週日曜日午後四時から五時に炊き出しを行なっており、昨年九月から十一月までに四七二八食を提供できました。一回に約三百六〇食、一回に二百キロを消費します。

ホームレスの人々にとつてこれからが格別厳しい季節。米が余っているという方、またあまった毛布があるという方、譲ってくださいよう、よろしくお願いします。

「貧しい人をあわれむ人は幸いだ。」箴言十四二二

小海町役場 九二二二五二五

藤田寛 東京都台東区日本堤一丁目25-11

(日曜午後配達希望と明記のこと)

カンパ 千振替 二四 四・五三七九六

山谷農場

小海キリスト教会

牧師 水草修治

「松原湖高原教会という名前なので、松

原の方に行ってしまうました。」こういう方が何人もいらっしやいました。これまで松原湖バイブルキャンプにゆかりのある教会なので、「松原湖」という名前を残してきましたが、小海駅のそばに会堂が建ちましたので、一月から「小海キリスト教会」と改称することになりました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

みなさんの教会だと思って、気軽に立ち寄っていただきたいというのが、私たちの願いです。敷居を低くするための工夫として、いろんな集会を今後、企画したいので、ご参加ください。

白い十字架の立つ会堂に関心のある方はたくさんいらっしやるようで、わざわざ車でそばまで来られてながめている方も

何人もいらっしやいます。クリスマス・イブの集会の後にも、「国道から夜空に浮かぶ十字架が見えたので」と訪ねてくださった二人がいらっしやいました。子どもの頃、日曜学校に通っていたという保育園の保育さんでした。ひさしぶりに教会を訪れて、クリスマスの夕べを教会で過ごせてよかったと喜んでくださいました。

なかには、「なんだか新方式の床暖房らしいね。話題の外断熱というのも関心あるけれど、キリスト教はどうも・・・」という方もどうぞ遠慮なく見学してください。いいです。

「いつでもどうぞと言われても、行きにくい」という声を聞きました。そこで次の日時を会堂オープン・見学歓迎日とします。お茶でも飲んでいってください。散歩がてら、どうぞ。もちろん無料です。

会堂オープン日

一月二日(日)

午後一時から三時

飛騨高山の院長先生へ

馬流元町の牧師館に七年半住んでいました。隣人は日赤の院長先生ご夫妻。私たちと同じ時期に高山から小海に越して来られ、私たちの引越しと同じ日に高山に戻って行かれました。亡き母が病身でお世話になりました。気さくな先生のおことは母はどれほど励まされたことでしょう。

その後、先生も病気になるれ一時はどうなることかと思いましたが、健康を回復されて、陰ながら祈っている者としてほんとうに感謝したことでした。

引越しの際には、ご自分たちはこれからマンション住まいになるとのこと、奥さんが丹精された多くの植木をプレゼントしてくださいました。おかげで見晴台の新しい教会堂は、予算もなかったのにちゃんと庭木が植えられました。春が楽しみです。

地方の医療に特別の使命を持たれる先生が飛騨の地でも健康を祝福されて、一層活躍されるように祈ります。